

# Mulesoft Certified Integration Architect - Level 1 (Japanese Version)

1. Anypoint Analytics を使用して、カスタム チャートで視覚化するために使用できる API 呼び出しに関するメトリクスは何ですか？

A. リクエスト サイズ、リクエスト HTTP 動詞、応答時間

B. リクエストサイズ、リクエスト数、JDBC Select操作結果セットサイズ

C. リクエストサイズ、リクエスト数、レスポンスサイズ、レスポンスタイム

D. リクエストサイズ、リクエスト数、JDBC Select 操作応答時間

**Answer(s): C**

---

2. グローバルで大量のショッピング Mule アプリケーションが構築されており、CloudHub にデプロイされます。パフォーマンスを向上させるために、Mule アプリケーションは CloudHub オブジェクトストアでキャッシュ状態を維持する Cache スコープを使用します。Web クライアントは、世界中から HTTP 経由で Mule アプリケーションにアクセスします。ピーク ボリュームは、Web クライアントの地理的な場所の営業時間と一致します。最適なパフォーマンスを実現するには、CloudHub オブジェクトストアにどの Anypoint Platform リージョンを選択する必要がありますか？

A. Mule アプリケーションがデプロイされている場所と同じリージョンを選択します

B. CloudHub オブジェクトストアでサポートされている唯一のリージョンである米国西部リージョンを選択します。

C. Web クライアントごとに、地理的に最も近い利用可能なリージョンを選択します

D. すべての Web クライアントのトラフィック加重地理的中心である地域を選択します。

**Answer(s): A**

---

3. Mule アプリケーションは、顧客がホストする 2 つの Mule ランタイムのクラスタにデプロイされます。現在、ノード名 Alice がプライマリ ノードで、bob という名前のノードがセカンダリ ノードです。ミュール アプリケーションには、ファイル システム上のディレクトリをポーリングして新しいファイルを探すフローがあります。

A. ファイルは Alice ノードからポーリングされますAlice がプライマリ ノードになりました

B. ファイルは Bob ノードからポーリングされますAlice がプライマリ ノードになりました

C. ファイルは Alice ノードからポーリングされますBob がプライマリ ノードになりました

D. ファイルは Bob ノードからポーリングされますBob がプライマリ ノードになりました

**Answer(s): D**

---

4. 組織は、すべての CloudHub デプロイメントに対して 1 つの特定の CloudHub (AWS) リージョンを使用します。組織の Mule アプリケーションがアベイラビリティゾーン (AZ) の CloudHub にデプロイされている場合、CloudHub ワーカーはどのようにアベイラビリティゾーン (AZ) に割り当てられますか？

A. 特定の環境に属するワーカーは、そのリージョン内の同じ AZ に割り当てられます。

B. AZ は、Mule アプリケーションのデプロイ構成の一部として選択されます。

C. ワーカーは、そのリージョン内の利用可能な AZ にランダムに分散されます。

D. Mule アプリケーション用に AZ がランダムに選択され、Mule アプリケーションのすべての CloudHub ワーカーがその 1 つの AZ に割り当てられます。

**Answer(s): C**

---

5. 組織は、今日の見積もりをキャッシュする Quote of the Day API を実装しています。CloudHub オブジェクトストア コネクタを使用してキャッシュの状態を保持できるシナリオはどれですか？

A. CloudHub への API 実装の 1 つのデプロイと、キャッシュ状態を共有する必要があるお客様がホストする Mule ランタイムへの別のデプロイがある場合。

B. キャッシュ状態を共有する必要がある同じ CloudHub リージョンに対して、2 つの Anypoint Platform ビジネス グループによる API 実装の 2 つの CloudHub デプロイがある場合。

C. API 実装の 1 つの CloudHub デプロイメントが、キャッシュ状態を共有する必要がある 3 つのワーカーにある場合。

D. API 実装の 3 つの CloudHub デプロイメントが、キャッシュ状態を共有する必要がある 3 つの個別の CloudHub リージョンにある場合。

**Answer(s): C**

---

6. Mule アプリケーションからの同期ロギングと非同期ロギングの主な違いは何ですか？

A. 同期ロギングは、単一のロギング スレッドにログ メッセージを書き込みますが、次のイベント プロセッサによって処理される Mule イベントをブロックしません。

B. 非同期ログは、各 Mule イベントの処理時間を短縮しながら、Mule イベント処理のスループットを向上させることができます。

C. 非同期ログは、より正確なタイムスタンプでより信頼性の高い監査証跡を生成します

D. 進行中のトランザクション内の同期ロギングは、現在の Mule イベントを処理するスレッドと同じスレッドにログ メッセージを書き込みます。

**Answer(s): B**

---

7. 統合開発者が再利用可能な API、コネクタ、およびテンプレートを検出して共有するのに役立つ Anypoint Platform コンポーネントはどれですか？

A. どこでも交換

B. API マネージャー

C. Anypoint Studio

D. デザインセンター

**Answer(s): A**

---

8. ある会社は、Oracle ERP でホストされている REST API 対応のクレーム支払いルール エンジンによって駆動される一連の重要な機能をサポートする新しい Mule アプリケーションを実装しています。設計どおり、ミュール アプリケーションはバッチ処理ロジックを実行するため、多くのデータ変換操作を必要とします。

A. Mule で適切な Java オブジェクトから新しいメタデータ RAML クラスを作成し、Dataweave を介して変換を実行します。

B. mule アプリケーションから、XSLT モデルを介して変換します。

C. Dataweave から適切な Java クラスを呼び出して変換します。

D. 適切な Java メソッドのいずれかを直接呼び出し、メタデータ RAML クラスを作成してから、Dataweave を介して必要な変換を実行します。

**Answer(s): C**

---

9. Mule アプリケーションは、単一の CloudHub ワーカーへのデプロイ用に設計されています。Mule アプリケーションには、フローが呼び出されるたびにいくつかの操作を実行するために SaaS システムに接続するフローがあります。

A. 永続オブジェクトストア

B. データベース

C. 非永続オブジェクトストア

D. 変数

**Answer(s): B**

---

10. パフォーマンスを向上させるために、顧客がホストする既存の Mule ランタイム クラスタにノードが追加されています。このクラスタにデプロイされた Mule アプリケーションは、ロードバランサーを介して API クライアントによって呼び出されます。

A. 新しいノードへのトラフィックをラウンドロビン方式で許可するには、新しいロードバランサーをプロビジョニングする必要があります。

B. 新しいノードを認識するように、外部監視ツールまたはログ アグリゲーターを構成する必要があります。

C. オブジェクトストアを使用する API 実装は、新しいノードを認識してそれらに永続化するように調整する必要があります。

D. API クライアントと新しいノード間の通信に対応するために、新しいファイアウォールルールを構成する必要があります。

**Answer(s): B**

---

11. Mule Domain Project について正しくないのはどれですか？

A. これにより、Mule アプリケーションはリソースを共有できます。

B. Mule ドメイン内の複数のサービスを同じポートで公開する

C. Anypoint Runtime Fabric のみ利用可能

D. VM キューを使用して他の Mule アプリケーションにイベント (メッセージ) を送信します。

**Answer(s): C**

---

12. 組織は、単一の Anypoint VPC 内の CloudHub で実行する複数の新しいアプリケーションを設計しており、共通の永続的な Anypoint オブジェクトストア V2 (OSv2) を使用してデータを共有する必要があります。

A. 永続オブジェクトストアの永続キューに直接アクセスするように構成された AVM コネクタ

B. 永続オブジェクトストアに直接アクセスするように構成された Anypoint MQ コネクタ

C. オブジェクトストア V2 は、構成された osv2 コネクタを使用して cloudhub アプリケーション間で共有できます。

D. 永続オブジェクトストアにアクセスするように構成されたオブジェクトストア V2 REST API

**Answer(s): C**

---

13. Mule アプリケーションが JMS コネクタを使用して JMS プロバイダ (メッセージブローカー) と対話する場合のネットワーク接続について正しいのはどれですか?

A. JMS メッセージの送信を完了するには、JMS コネクタは JMS メッセージ受信者とのネットワーク接続を確立する必要があります。

B. メッセージを Mule アプリケーションに受信するために、JMS プロバイダは JMS コネクタへのネットワーク接続を開始し、この接続に沿ってメッセージをプッシュします。

C. JMS コネクタは、JMS プロバイダによって決定されたプロトコルを介した JMS メッセージの送受信の両方をサポートします。

D. JMS コネクタは AMQP プロトコルを使用して、さまざまなタイプの JMS プロバイダへの接続を移植可能に確立できます。

**Answer(s): C**

---

14. AnyAirline 組織の乗客予約センターは、ビジネス トランザクションで 3 つの異なるシステム API (bookFlight、bookHotel、および bookCar) の呼び出しを組み合わせる統合ソリューションを設計しています。各システム API は、単一のデータベースを呼び出します。

A. 各 API 実装内でローカル トランザクションを実装する同じ eXtended Architecture (XA) トランザクションにも参加するように各 API 実装を構成する 各 API 実装にキャッシュを実装して、パフォーマンスを向上させる

B. 各 API 実装でローカル トランザクションを実装する Saga パターンを使用して API 実装間の調整を行う障害が発生した場所に応じて、さまざまな補償アクションを適用します

C. API 実装間に eXtended Architecture (XA) トランザクションを実装する Saga パターンを使用して API 実装間を調整する 各 API 実装にキャッシュを実装してパフォーマンスを向上させる

D. Saga パターンを使用して Mule アプリケーションに eXtended Architecture (XA) トランザクションマネージャを実装する XA トランザクションを使用して各 API 実装を Mule アプリケーションに接続する 障害が発生した場所に応じてさまざまな補正アクションを適用する

**Answer(s): B**

---

15. 組織は、CloudHub 共有ロード バランサー (SLB) を使用するか、CloudHub 専用ロード バランサー (DLB) を作成するかを評価しています。この選択が、MuleSoft 提供、顧客提供、または Mule アプリケーション提供の証明書を含む、CloudHub でデプロイされた Mule アプリケーショ

ンで使用されるさまざまなタイプの証明書にどのように影響するかを評価しています。  
CloudHub 共有ロード バランサー (SLB) がパブリック インターネット経由で外部 Web クライアントに公開できるサービスの証明書の種類には、どのような種類の制限がありますか？

A. 基盤となる Mule アプリケーションは、独自の証明書を実装する必要があります

B. サーバー側の証明書には、MuleSoft が提供する証明書のみを使用できます。

C. 自己署名証明書のみ使用可能

D. 共有ロード バランサーで使用できるすべての証明書は、サポート チケットを発行して承認を受ける必要があります。

**Answer(s): B**

---

16. Cloud Hub は、どのクラウド コンピューティング サービス モデルの例ですか？

A. サービスとしてのプラットフォーム (PaaS)

B. サービスとしてのソフトウェア (SaaS)

C. Monitoring as a Service (MaaS)

D. Infrastructure as a Service (IaaS)

**Answer(s): A**

---

17. 組織は、金融取引データをレガシ システムからデータ ウェアハウス (DWH) にレプリケートするための統合ソリューションを設計しています。

A. イベント駆動型アーキテクチャ

B. マイクロサービス アーキテクチャ

C. API 主導の接続

D. バッチ トリガー ETL

Answer(s): D

---

18. 2つの要件を満たすように設計されたミュールアプリケーション

A. FTPS ファイル処理にクラウド ハブの永続キューを使用するバッチ ジョブ スコープの VM キューを構成する必要はありません。これは、デフォルトで VM キューイングにワーカーのディスクを使用するためです。

B. FTPS ファイル処理にクラウド ハブの永続的な VM キューを使用するバッチ ジョブ スコープの VM キューを構成する必要はありません。これは、デフォルトで VM キューイングにワーカーの JVM メモリを使用するためです。

C. FTPS ファイル処理にクラウド ハブの永続的な VM キューを使用するバッチ ジョブ スコープの VM キューを無効にする

D. FTPS ファイル処理に VM コネクタの永続キューを使用するバッチ ジョブ スコープの VM キューを無効にする

Answer(s): A

---

19. マイクロサービス アーキテクチャのサービス メッシュによって管理される通信の種類はどれですか？

A. マイクロサービス ランタイム管理者間の通信

B. マイクロサービス開発者間のコミュニケーション

C. マイクロサービス間の通信

D. 取引先サービス間の通信

Answer(s): C

---

20. 組織は現在、データセンター内でマルチノード Mule ランタイム展開モデルを使用しているため、各 Mule ランタイムは複数の Mule アプリケーションをホストしています。組織は、Kubernetes クラスター内の Docker コンテナに基づく展開モデルへの移行を計画しています。組織は、Mule ランタイムとすべての必要な依存関係 (JVM を含む) を含む標準の Docker イメージを既に作成していますが、Mule アプリケーション自体は除外しています。

A. マイクロサービス アーキテクチャの原則に従うために Mule アプリケーションの再設計が必要

B. Docker および Kubernetes ベースの Anypoint Platform - Private Cloud Edition への必須の移行

C. Mule アプリケーションに要求を送信するためにクライアントが使用する URL エンドポイントに必要な変更

D. Mule アプリケーションのすべてのデプロイメントにわたる実行環境の一貫性の保証

**Answer(s): A**

---